



吉備津神社の拝殿。本殿と共に国宝に指定されている



本宮社に続く回廊は総延長約 400 メートル

中国5県絶景の旅⑤

「岡山県岡山市・吉備津神社」

—— 桃太郎伝説発祥の吉備国一宮 ——

子供心に、不思議に思っていたことがある。「備後庄原駅」の名前である。「備後（びんご）」というのは何だろうか。古い地名であることは想像していたが、何故そう呼ばれるのかは知らないまま上京、四十代半ばで帰郷したときも同じである。

本誌の企画で芸備線の駅を

と、吉備国は大和、筑紫、出雲な
レポートするようになって、備後と名の付く駅が多いことにあらためて気づいた。そして、備中神代駅の「備中（びつちゅう）」である。そういえば、備前焼で有名な「備前」という呼び名もある。それで調べてみて、古代に吉備という地方国家が存在したことを知った。ウィキペディアの記事による

どと並んで、古代日本の四大王国の一角だった。現在の岡山県全域と、広島県東部、香川県島嶼部、兵庫県西部にまたがる広大な領地を有していたらしい。
分国は持統天皇3年（689年）で、備前・備中・備後に分割、大和朝廷による中央集権国家が成立した後での政策で、地方豪族の勢力を分断する目的もあったと推測される。大和に近い方から備前・備中・備後、さらに20数年後に備前国から内陸部の美作（みまさか）が分立した。筑紫国は筑前と筑後に分けられ、越（古志）国は、吉備と同じく越前・越中・越後に三

分割された。

かつての吉備国の末裔の一人として、国の中心地であったであろう場所を訪ねてみたい。それが吉備津神社なのである。

6月15日曜日、8時半頃、車で庄原市の自宅を出た。すぐに庄原インターチェンジから中国縦貫道に入り、北房ジャンクションで岡山自動車道を南下、岡山総社インターチェンジで高速を降りた。それから吉備津神社まで15分余り。途中、休憩を入れながらも、庄原から2時間半のドライブだった。高速料金が土日・祝日割引で30パーセント引きなのがあった。

自宅を出るときには小雨が降っていたのだが、岡山自動車道を走っているときは日差しが漏れてきた。吉備津神社の駐車場に入った時は、青い空が広がっていた。さすがは晴れの国である。駐車場は入口でセンサーが車両番号を記憶、退出する前に精算機で支払いを済ませてから出口に向かうというシステムで、これだと出入り口で渋滞することがない。

駐車場に隣接する場所に、犬養毅の大きな銅像が聳えている。解説板によると、犬養毅元総理の生家は吉備津神社の近くにあり、遠祖が犬養健命（いぬかいたけるのみこと）で、桃太郎伝説の起源となった吉備津彦命の温羅（うら、

どらくろあ 掲示板

地域のイベント情報やメンバー募集など
情報掲示板です。

どらくろあ ホームページ

バックナンバーも掲載して
いるので、ダウンロードして
お楽しみいただけます。



<http://shobara.wix.com/dorakuroa>

2025 被爆80年 宮角孝雄写真集 「GROUND ZERO LOVE and PEACE」 発刊記念写真展

写真家宮角孝雄が広島の実爆ドーム前でポートレートの撮影を始めたのは2000年から。10年目の2010年に「宮角孝雄写真集 GROUND ZERO 希望の神話」を刊行し、今回原爆投下から80年となる2025年に第2弾となる写真集を発刊。

世界平和を願う“想い”の共有を、心から願います。

- 旧日本銀行広島支店『2025 平和と美術と音楽と～被爆80周年記念イベント～』内
8月3日(日)～8月6日(水) 10時～17時(広島市中区袋町5-21)
- 庄原ショッピングセンター『ジョイフル』2階(Tel0824-72-4111)
7月18日(金)～28日(月)※19日(土) 10時～開会式(新屋マリライブ!)
- 宮角孝雄サイン会
7月24日(木) 14時～We 東城店(庄原市東城町川東1348-1 Tel08477-2-1188)
- 宮角孝雄講演会
7月20日(日) 11時～萬福寺(庄原市是松町227 Tel0824-72-0292)
7月24日(木) 11時～天徳寺(神石郡神石高原町小野749 Tel0847-83-0455)
7月25日(金) 10時～「写真を通して語る平和(仮)」(高校生対象)
ほなび(庄原市西本町2-12-10 Tel0824-73-9366)

宮角孝雄プロフィール

広島県庄原市生まれ、被爆2世。庄原格致高校、日本大学卒業。

雑誌やコマーシャルフォトで幅広く活躍。エコール・ド・プロトコール・モナコ写真講師。

発行：どら書房

誌面デザイン：ROUTE183

協賛：九日市愛好会